【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成30年3月8日(2018.3.8)

【公表番号】特表2015-527418(P2015-527418A)
【公表日】平成27年9月17日(2015.9.17)
【年通号数】公開・登録公報2015-058
【出願番号】特願2015-517326(P2015-517326)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｌ 101/14 (2006.01)
Ｃ０４Ｂ 41/63 (2006.01)
Ｃ０４Ｂ 41/65 (2006.01)
Ｃ０８Ｋ 3/26 (2006.01)
Ｅ０４Ｆ 13/02 (2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｌ 101/14
Ｃ０４Ｂ 41/63
Ｃ０４Ｂ 41/65
Ｃ０８Ｋ 3/26
Ｅ０４Ｆ 13/02 Ａ
Ｅ０４Ｆ 13/02 Ｈ
Ｅ０４Ｆ 13/02 Ｂ

【誤訳訂正書】
【提出日】平成30年1月25日(2018.1.25)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
（ａ）炭酸カルシウム及び／又は無水石膏を乾燥組成物の重量で３０から９５％、
（ｂ）高吸水性ポリマーの質量の少なくとも５０倍を吸収可能であり、２５０ミクロン以下の粒径を有し、デンプンではない高吸水性ポリマーを乾燥組成物の重量で０．０２から５％、
（ｃ）粘土を乾燥組成物の重量で１から２０％、
（ｄ）デンプンを乾燥組成物の重量で０．５から１０％、および、
（ｅ）水
を含む、基板を質感加工するための質感（ｔｅｘｔｕｒｅ）組成物であって、
前記組成物は乾燥することにより硬化し、
前記質感組成物は１５０から８００ブラベンダー単位の粘度を有し、
前記組成物はセルロース系増粘剤を含まない、質感（ｔｅｘｔｕｒｅ）組成物。
【請求項２】
前記高吸水性ポリマーは、粒径が１５０ミクロン以下である、請求項１に記載の組成物。
【請求項３】
前記高吸水性ポリマーは、その質量の２００から８００倍を吸収し得る、請求項１又は２に記載の組成物。
【請求項４】

前記高吸水性ポリマーは、開始剤の存在下で水酸化ナトリウムとブレンドされてポリ－アクリル酸ナトリウム塩を形成するアクリル酸の重合から調製される、請求項１から３のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項５】
前記高吸水性ポリマーは、ポリアクリルアミドコポリマー、エチレン無水マレイン酸コポリマー、架橋カルボキシ－メチルセルロース、ポリビニルアルコールコポリマー、架橋ポリエチレンオキシド、またはポリアクリロニトリルのデンプングラフト化コポリマーから作られる、請求項１から４のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項６】
前記組成物は、オリゴ糖、多糖、セルロースエーテル、セルロース系粘剤、メチルセルロース、ヒドロキシエチルセルロース、ヒドロキシエチルメチルセルロース、デキストラン、カルボキシメチルデキストラン、デキストラン－スルホン酸塩、キトサン、キサンタンガム、カルボキシメチルセルロースまたはそれらの塩、カラギーナン、ヒドロキシエチルヒドロキシプロピルセルロース、エチルヒドロキシエチルセルロース、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、およびメチルヒドロキシルプロピルセルロースを含まない、請求項１から５のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項７】
前記デンプンは、アルファ化デンプン、酸変性デンプンまたはアルキル化デンプンを含む、請求項１から６のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項８】
前記デンプンは、トウモロコシデンプン、ジャガイモデンプン、コムギデンプン、変性トウモロコシデンプン、アルファ化コムギデンプン、天然コムギデンプン、変性コムギデンプン、ヒドロキシエチル化デントコーンデンプン、ヒドロキシプロピル化架橋デントコーンデンプン、ヒドロキシプロピル化架橋ワキシーコーンデンプンまたは変性ジャガイモデンプンを含む、請求項１から７のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項９】
（ａ）請求項１から８のいずれか１項に記載の組成物を基板に塗布するステップ、および
（ｂ）基板上の組成物を乾燥させて該組成物を硬化するステップ
を含む、基板を質感加工する方法。
【請求項１０】
前記基板は、ウォールボード、漆喰壁、コンクリート壁、または天井の形態である、請求項９に記載の方法。
【請求項１１】
前記組成物は、噴霧、回転塗布、たたき塗り、塗装用ローラーまたは絵筆によって塗布される、請求項９に記載の方法。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０００１
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０００１】
質感（ｔｅｘｔｕｒｅ）組成物（以下、単に「質感組成物」という）は、ウォールボード、漆喰壁、コンクリート壁および天井などの下地で知られている。例えば、質感組成物は、小さな表面欠陥（例えば、被覆ジョイントコンパウンドの塗布など）を隠すため、または美的外観を作り出すために用いられ得る。例えば、美的外観は、滑面、粗面および／または立体的な表面であってよく、所望に応じて模様を形成し得る。模様には、例えば、斑点、水玉、まだらまたは天井などのためのポップコーン型、骨材表面などの立体的な外観が含まれ得る。質感組成物は、利用者によって所望の外観に形成可能な加工性であるように湿式で塗布される。塗布された湿性質感組成物は、基板を仕上げるために乾燥しても

よい。